

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

2015年10月30日

知的財産法 10

杉山 務

【問題】⑤ 以下の問にボールペン類で解答し、併せて授業の感想、質問、意見など、記載せよ。

問1：専用実施権が東日本での実施に制限されている場合に、特許権者は東日本でその特許発明を実施することはできるか。 p.109

【答】

問2：特許権が共有されている場合に共有者の1人が死亡した。その者の持分の相続について共有者の同意は必要か。 p.109

【答】

問3：Xは、発明 α と発明 β をした。その後、Xは特許出願をし、その願書に添付した明細書の発明の詳細な説明には発明 α と発明 β を記載したが、特許請求の範囲には発明 α のみを記載した。この出願は、何らの補正もされず、このまま特許査定を受け、Xは特許権を取得した。

Yは、発明 β を業として実施しているが、発明 α を実施していない。Yについて文言侵害は成立するか。 p.121

【答】

感想、質問、意見など

--